

2024年度 「中国 大連通信」

2024年8月2日

駐大連北九州市経済事務所

◆所長 瀧口 達弘 ◆副所長 松江 拓尚
◆副所長 呂 俐 ◆職員 畢 偉宸
松江 E-mail: fusuo Zhang@kitakyusyu-dl.com

～北九州市・大連市友好都市締結 45周年～

2024年は、北九州市・大連市友好都市締結45周年の年であり、今年2月には大連市の陳市長が北九州市を訪問、6月には北九州市の武内市長が初めて大連市を訪問し、それぞれの市で開催された45周年の記念レセプション等に参加しました。今回は、両市の交流の歴史を改めて紹介いたします。

■北九州市と大連市交流の歴史

- 1979年：大連市(当時は旅大市)と友好都市を締結
- 1982年：‘大北亭’起工式
友好都市締結3周年を記念し、頓田貯水池(グリーンパーク)に建設
- 1984年：‘北大橋’起工式
友好都市締結5周年を記念し、大連市に建設
- 1985年：大連港と友好港締結
- 1994年：‘国際友好記念図書館’(現、大連友好記念館)開館
友好都市締結15周年を記念し、門司港レトロ地区に建設
- 1996年～2000年 大連市環境モデル地区整備計画調査
都市間での環境国際協力に関する国内初のODA案件
- 2001年：環境改善が評価され、大連市が国連環境計画(UNEP)から国連「グローバル500¹」を受賞
北九州市長が中国政府から「中国国家友誼賞²」を受賞
- 2004年：大連市民約100名が来北、市長・議長含む北九州市民約200名が訪大
大連雑技団北九州公演に、市民2,400名が来場
- 2010年：北九州市自然史・歴史博物館と旅順博物館の間で友好交流協定を締結
- 2019年：北九州―大連の国際定期便の運航(現在、運休中)
クルーズ船で大連市民約900名が来北
- 2024年：北九州―大連の国際チャーター便の運航(現在、運休中)

¹ 持続可能な開発の基盤である環境の保護及び改善に功績のあった個人及び団体を表彰する制度

² 科学技術や産業、教育の発展に長年にわたり貢献した外国人及びその責任者に与えられる賞

1972年の日中共同声明による国交回復を契機に、港湾都市である点や工業都市である点など都市形態が類似している大連市に、北九州市側から友好都市締結を打診し1979年に北九州市と大連市は友好都市を締結しました。上記以外にも水道分野やスポーツ、青少年交流など様々な分野で交流を重ね、2000年に開催された「中国友好都市国際大会」では、当時の胡錦濤副主席が北九州市と大連市の都市間交流について言及し、日中両国の友好都市交流のモデルであると高く評価しました。

45周年を迎えた今日においても、大連市政府とは互いに親戚と呼びあうほどの緊密な関係性を築いています。



※1979年5月 友好都市締結調印式の様子

■北九州市・大連市友好都市締結45周年記念レセプション

6月26日(水)、大連市内のホテルで友好都市締結45周年記念レセプションが開催され、大連市と北九州市の両市長をはじめ、大連に進出している北九州企業も参加しました。

冒頭のあいさつで北九州市の武内市長は、北九州市と大連市の関係を「管鮑の交わり³」という言葉を使って表現し、これまで培ってきた固い友情の絆を今後も強めていきたいと話しました。



※壇上であいさつをする武内市長

³ 利害によって変わる事のない極めて親密な友情。終生変わらない友情の例え。

レセプションではこれまでの両市の交流の歴史が紹介され、45周年の記念ロゴの発表もされました。記念ロゴは、大連市の「大」と北九州市の「北」の文字からデザインされており、2つのグラデーションを重ね合わせると、人と人が手を取って歩いているように見え、過去45年間にわたる両市の友好関係が今後も続き、発展するようにとの意味合いが込められています。



■北九州市と大連市ゆかりのスポット

1. 北大橋

友好都市締結5周年を記念して建設された橋で、北九州の「北」と大連の「大」から北大橋と名付けられました。橋から海を望む景色はとても綺麗で、恋人同士でこの橋を渡ると一生幸せになれるというジンクスもあり、別名「恋人橋」とも呼ばれています。現在では大連市を代表する結婚写真のスポットとしても有名で大連市民にも広く愛されている、両市の友好関係を示す象徴的なスポットです。



※北大橋

2. 大連美術館

下の2つの写真、一見すると同じ建物に見えると思いますが、実は別の建物です。左は大連市のロシア風情街にある「大連美術館」で、右は門司港レトロ地区にある「大連友好記念館」です。

大連美術館は、もともとはロシア帝国が1902年に建築した鉄道汽船会社の建物です。そして友好都市締結15周年を記念し、この建物を模倣して建設されたものが、門司港レトロ地区にある「大連友好記念館」です。大連友好記念館に使用されているレンガは大連市現地で作られたものであり、素材や形に至るまで、そっくりそのままに模倣されています。



※大連美術館（大連市）



※大連友好記念館（北九州市）

3. 中山公園

大連を代表とする公園の1つである中山公園には、友好都市締結20周年と30周年を記念する石碑があります。

20周年の石碑には「友谊长久」、30周年の石碑には「源远流长」の4文字がそれぞれ記載されています。これらはそれぞれ、「両市の友情が永久に続くように」という願いと「両市の友好交流の歴史がこれからも続くように」という願いが込められています。



※友好都市締結20周年と30周年の石碑